

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 6 月 15 日

事業名称		介護サービス事業者支援等事業費 [地域密着型サービス事業支援]							
予算科目	款 3	民生費	項 1	社会福祉費	目 3	老人福祉費	事業番号	10	
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)								
担当部署・課長名	高齢介護		課		介護給付		係	課長名	伊野宮 崇
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	2 - 2	
【施策名】 高齢者保健福祉の推進							総合計画書 (ページ)	51	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 市内に所在する認知症高齢者グループホーム				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 対象事業所 →				
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 介護保険法では、認知症高齢者グループホームの場合、第三者評価の受審が義務付けられており、適正な受審を行わせる				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 受審率 →				
	③ そのために何をしましたか。 受審内容や補助内容の周知をした				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 回数 →				
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標		
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	
	対象指標	①の数値	人	3	3	3			
	成果指標	②の数値	%	100	100	66.7			
	目 標	②の目標値	%	100	100	100			
目標値設定の考え方 第三者評価の受審が義務付けられているグループホームの受審率。									
3 経費	事業費(実績)		円	1,096,000	1,096,000	745,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)		
	財源	一般財源	円	0	0	0			
		特定財源	円	1,096,000	1,096,000	745,000			
		(うち受益者負担)	円	0	0	0			
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05			
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0			
		職員人件費(再任用以外)	円	412,650	412,200	415,500			
		職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
事業費+人件費		円	1,508,650	1,508,200	1,160,500				
4 環境変化等	(1) 開始年度		19 年度						
	(2) 環境の変化		ある一定の条件を満たすと受審間隔を2年に1回にすることができる。平成31年度は1事業所がこの緩和条件を満たしたため外部評価を行わなかった。						

事業名称	介護サービス事業者支援等事業費 [地域密着型サービス事業支援]			
担当部署・課長名	高齢介護	課	介護給付	係 課長名 伊野宮 崇

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	特になし			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法：		
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
特になし				
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	特になし			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	特になし			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
特になし				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 高齢者保健福祉の推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】			
	特になし			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
特になし				